

ひゃくはっ  
**「百八たい」幻想的な盆送り火**

8/16

下長尾地区で毎年恒例の伝統行事が行われました

下長尾区の大井川河川敷にて盆の送り火「百八たい」が行われ、区民や帰省中の家族連れなど、約100世帯が参加しました。

各世帯がそれぞれまきを持ち寄ると、約2メートル間隔で40センチほどの高さに積み上げました。初盆を迎えた家庭から順番に火を放つと、水面を幻想的に照らしました。

百八たいは同地区で続く伝統行事で、由来は定かではないものの、江戸時代に発生した鉄砲水の犠牲者を慰霊する川施餓鬼を起源とする説が伝えられています。



大井川の流れに沿って、燃え上がる盆送り火(下泉橋から撮影)

8/21

**1日の始まりはラジオ体操から**

お寺が地域コミュニティの場になることを目指して



近隣住民が6時20分頃から集まりラジオ体操を行います

徳山大泉院で8月の1カ月間ラジオ体操に取り組みました。取材に伺った8月21日も4歳から88歳までの約30人が元気に体を動かしました。大泉院住職の爾見淳芳さんは「皆さんから地域コミュニティの場としてお寺に親しみをいただいております」と喜んでいました。

ラジオ体操にかかわらず参加しているという青木美智子さん(徳山=74歳)は「仲間同士で呼び掛け合い、散歩コースに取り入れ参加する人もいます。早起きして体を動かすことはとても気持ちがいい」と笑顔で話しました。

**まちを盛り上げる「やっちゃん祭」**

8/13

ネパール音楽や豪快な手筒花火が会場を盛り上げました

今年で7回目となる恒例の夏祭り「やっちゃん祭」が高郷区の大井川河川敷で行われ、町内外からの多くの来場者でにぎわいました。

この祭りは、盆休みに帰省した人たちに思い出を残してもらおうと、地元住民でつくる実行委員会が毎年開催しています。

会場では赤石太鼓やネパール音楽の演奏などが行われ、イベントを盛り上げました。奥大井煙火保存会による約65本の手筒花火も行われ、豪快な火柱と花火師の勇壮な姿に、来場者からは歓声が上がりました。



迫力ある手筒花火に歓声が上がりました

## 「血管は生命のパイプライン」

8/10

心血管系を健康に保つことこそ健康で長生きの秘訣

県立総合病院の島田俊夫医師による講演会「やさしい心血管病の話」が文化会館にて行われ、約100人の町民が参加しました。

いやしの里診療所の遠隔診療循環器支援担当医を務める島田医師は、生命のパイプラインである血管の大切さや、健康改善や病気の予防につながるお話を分かりやすく講演されました。

また、島田医師が取り組む「緑茶を服用する習慣が健康の改善に及ぼす効果」についての研究紹介もあり、貴重な講演内容に参加者からは「参加してよかった」との声が聞かれました。



心血管の重要性について講演する島田医師

8/10

## 山あいにこだました歌声と歓声

寸又峡で開催の盆踊りと音楽イベントに多くの来場者



ステージには4組が出演し、会場を盛り上げました

寸又峡イベント広場で、寸又峡美女づくりの湯観光事業協同組合が企画する「小さな盆踊り」とこんばんわ会主催の「カワネ・ミュージックリンク」が共同で開催し、観光客をはじめとする約150人の来場者でにぎわいました。

夏休み期間で家族連れも多く訪れ、無料で振る舞われたかき氷や綿菓子には長蛇の列ができました。会場を盛り上げた出演者のカワネ・サウンドバックの櫻下代表は「多くの来場者が声援や手拍子で盛り上げてくれてうれしい。音楽でまちを盛り上げたい」と笑顔で話しました。

## 懐かしい顔に出会った「ミニ盆踊り」

8/17

住民手作りの「ミニ盆踊り」が千頭駅前広場で開催されました

今年で7回目となる「ミニ盆踊り」が地区住民の有志によって千頭駅前広場にて開催され、区民や帰省中の家族連れなどが訪れました。

辺りが暗くなり始めると、浴衣姿や普段着の来場者が広場の中心に設置された特設の舞台を囲み始め、楽しそうに盆踊りを披露しました。

地元住民が中心となって金魚すくいや綿菓子、輪投げなどの露店を出店し、会場を盛り上げました。また、竹筒の先端に手持ち花火を取り付けた「ミニ手筒花火」の体験も行われ、参加した子供たちからは歓声が上がりました。



思い出話に花を咲かせ、盆踊りを楽しむ参加者